

令和3年度

石川県立歴史博物館運営審議会資料



いしかわ赤レンガミュージアム

石川県立歴史博物館

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

# 目 次

## 議題1 令和3年度事業の執行状況について

- 1 コロナ等による休館 . . . . . 1
  - (1) コロナ
  - (2) 工事
- 2 展覧会開催事業 . . . . . 1
  - 秋季特別展
- 3 その他事業 . . . . . 3
  - (1) 普及事業
  - (2) 資料整備事業
  - (3) 歴史文化国際交流推進事業
  - (4) 石川の歴史遺産セミナー事業
  - (5) その他

## 議題2 令和4年度事業計画及び当初予算について

- 1 展覧会開催事業 . . . . . 8
  - (1) 春季特別展
  - (2) 夏季特別展
  - (3) 秋季特別展
- 2 その他事業 . . . . . 9
  - (1) 普及事業
  - (2) 資料整備事業
  - (3) 歴史文化国際交流推進事業
  - (4) 石川の歴史遺産セミナー事業
- 3 令和4年度当初予算 . . . . . 11

### (附属資料)

- 1 入館者数調べ
- 2 資料整備事業

## 議題 1

### 令和3年度事業の執行状況について

#### 1 コロナ等による休館

##### (1) コロナによる休館

県対策本部の決定に基づき5月12日(水)から6月13日(日)、7月31日(土)から9月30日(木)の間約3か月間休館した。

再開にあたっては、ガイドラインに沿って入館時の体温測定・手指消毒・マスク着用の確認、総合受付のビニールやアクリル板の設置など対策を施した。なお、混雑が予想される特別展には、観覧時の一方通行の導入など追加対策をとった。

##### (2) 工事による休館

暖房設備工事(アスベスト除去)に伴い、20日程度の休館を行った。

(12月11日(金)～12月20日(月)、2月28日(月)～3月9日(水))

#### 2 展覧会開催事業

##### (1) 春季特別展

(10,416人)

テーマ:「小原古邨一海をこえた花鳥の世界一」
会場:特別展示室・企画展示室
期間:2021年4月24日(土)～6月27日(日) 65日間
内容:浮世絵蒐集家・原安三郎(1884～1982)のコレクションにかかる明治期の作品に加え、古邨が新境地を見せた大正・昭和期の作品もよりすぐり、その画業の全貌を紹介した。あわせて、近代金沢の美術工芸品や師・鈴木華邨の作品から古邨のルーツを探るとともに、当時の美術動向を伝える豊富な資料をもとに、古邨作品の海外受容の裏側に迫った。
展示構成:序章. 知られざる実像 小原古邨 1章. 生きとし生けるものへ 古邨時代 2章. 日々の暮らしのなかへ 祥邨・豊邨時代 3章. 古邨を育んだふるさと 4章. 海をこえて 欧米をめぐる古邨の花鳥風月 終章. 時をこえて 故きを温めて新しきを知る
主な展示品: 小原古邨「踊る狐」 明治後期 東京都 中外産業株式会社蔵 小原祥邨「金魚鉢に猫」 昭和6年(1931) 個人蔵 鈴木華邨「花鳥図押絵貼屏風」 明治26年(1893) 個人蔵 鈴木華邨・納富介次郎ほか「扇面画軸」 明治27年(1894) 個人蔵 八代水野源六「金銀象嵌雪に鷹図香炉」 明治期 石川県立美術館蔵 初代山川孝次「金銀象嵌草花文鳥籠置物」 明治期 石川県立美術館蔵
関連事業:記念講演会、展示解説

(2) 夏季特別展 (令和2年夏季から延期)

(3,146人)

テ ー マ : 「大加州刀展」
期 間 : 2021年7月22日 (木) ~ 9月12日 (日) 53日間【7月31日以降休館】
会 場 : 特別展示室・企画展示室
内 容 : 日本刀を鍛造した産地として、古来、五箇伝と称し、岡山県の備前、奈良県の大和、京都府の山城、岐阜県的美濃、神奈川県相模などがすこぶる著名であり、古くから名のある多くの名工を輩出した。このような中であって、加賀の刀工は、大なり小なり前述の産地の影響、あるいは交流のもとに生まれ、数々の刀剣を鍛えてきた。本展は、この加賀の地で活躍した刀工にスポットをあて、近年注目されている加州刀を系譜別、年代別に俯瞰し、一堂に公開した。併せて拵の逸品も展示した。
展示構成 : ①真景・友重・清光 ②橋爪系、③陀羅尼系 ④信長・信忠 ⑤兼若と一門 ⑥炭宮系と木下兼久系、一代鍛冶 (長次・大寿)
主な展示品 : 刀/友重 個人蔵 刀/銘清光 浄照寺蔵 刀/脇指/銘加陽金府住藤原氏 吉家陀羅尼吉右衛門尉作之 久昌寺蔵 刀/銘加州藤原住家次作 本館蔵 刀/銘 賀州住藤原家平作 本館蔵 刀/銘瑞龍院為御寄進依仰奉作之 賀州住藤原家重造 個 人蔵 刀/銘信長 本館蔵 刀/銘賀州住兼若造 本館蔵
関連事業 : 「刀剣乱舞」との各種コラボ

(3) 秋季特別展

(13,876人)

テ ー マ : 「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」金沢展
期 間 : 2021年10月9日 (土) ~ 11月23日 (火・祝) 46日間
会 場 : 特別展示室・企画展示室・ギャラリー
内 容 : 徳川美術館に伝来した家康の遺産「駿府(すんぷ)御分物(おわけもの)」や歴代当主、子女の所用品に加え、同館のコレクションの中から選び抜いた名品を紹介した。また、前田利常から五代将軍綱吉に献上された国宝の太刀「長光(ながみつ)」や、関ヶ原合戦直前の徳川家と前田家との関係をリアルに伝える古文書「前田利長書状」など、加賀前田家ゆかりの貴重な品々もあわせて公開した。
展示構成 : 序章. 御三家筆頭の威光 1章. 研ぎすまされた美—武具— 2章. もてなしと儀礼—茶・香・能— 3章. いにしへの知を求めて—絵画・書跡— 4章. 美しい調度—姫君の婚礼— 特別公開 国宝「源氏物語絵巻」
主な展示品 : 黒塗黒糸威具足 徳川義直 (尾張家初代) 所用 江戸時代 (17世紀) 国宝 太刀 銘 長光 津田遠江長光 織田信長ほか所持 鎌倉時代 (13世紀) 重文 白天目茶碗 武野紹鴎ほか所用 室町時代 (15-16世紀) 重文 銀檜垣に梅図香盆飾り 江戸時代 (17世紀) 国宝 源氏物語絵巻 竹河 (二) 平安時代 (12世紀) 国宝 初音蒔絵眉作箱 霊仙院千代姫 (尾張家2代光友正室) 所用 寛永16年 (1639)
関連事業 : 記念講演会、展示解説

## 2 その他事業

### (1) 普及事業

#### ア 各種行事・講座

##### ○展示解説

##### 春季特別展

5月 9日 (日)	担当：中村 真菜美 (学芸員)	コロナで中止
16日 (日)	担当：中村 真菜美 (学芸員)	〃
6月 19日 (土)	担当：中村 真菜美 (学芸員)	参加者 22名
20日 (日)	担当：中村 真菜美 (学芸員)	参加者 40名
27日 (日)	担当：中村 真菜美 (学芸員)	参加者 31名

##### 夏季特別展

コロナで中止

8月 7日 (土) 担当：小浦 宗五郎 氏 (日本美術刀剣保存会会員)

コロナで中止

8日 (日) 担当：北 春千代 (学芸主幹)

##### 秋季特別展

10月 9日 (土) 担当：蒲田 大輔 氏 (徳川美術館学芸員)  
参加者 22名

11月 7日 (日) 担当：吉川 美穂 氏 (徳川美術館学芸部部長代理)  
参加者 32名

##### ○講演会

春季特別展 記念講演会「小原古邨 一光と雨の系譜を追って」

4月 25日 (日) 講師：小池 満紀子 氏

(中外産業株式会社原安三郎コレクション担当・国際浮世絵会常任理事)

参加者 38名

夏季特別展 記念講演会「加州の名刀を語る」

7月 24日 (日) 講師：渡邊 妙子 氏 (公益財団法人 佐野美術館理事長)

参加者 39名

秋季特別展 記念講演会「国宝 源氏物語絵巻の魅力」

10月 24日 (日) 講師：吉川 美穂 氏 (徳川美術館学芸部部長代理)

参加者 42名

##### ○館長講演会

1月 29日 (土) 「利家と家康」

講師 藤井 讓治

参加者 37名

○れきはくゼミナール (全12回) ※コロナで中止

合計175名

回	開催日	受講者数	回	開催日	受講者数
第1回	5月22日	中止	第7回	9月18日	中止
第2回	6月12日	中止	第8回	10月16日	36名
第3回	6月26日	15名	第9回	10月30日	31名
第4回	7月17日	13名	第10回	11月6日	中止
第5回	8月21日	中止	第11回	11月20日	40名
第6回	9月4日	中止	第12回	1月22日	40名

○いしかわ歴史講座 (全12回) ※コロナで中止

計134名

回	開催日	受講者数	回	開催日	受講者数
第1回	5月14日	中止	第7回	9月24日	中止
第2回	5月28日	中止	第8回	10月1日	中止
第3回	6月18日	中止	第9回	10月22日	16名
第4回	7月9日	41名	第10回	11月12日	23名
第5回	8月27日	中止	第11回	11月26日	21名
第6回	9月10日	中止	第12回	1月14日	33名

○古文書講座 (全6回)

合計161名

回	開催日	受講者数	回	開催日	受講者数
第1回	5月26日	38名	第4回	11月10日	28名
第2回	6月23日	32名	第5回	1月20日	36名
第3回	10月20日	30名	第6回	1月27日	33名

○ワークショップ・イベント (コロナで中止)

イ 案内解説・レファレンス

○案内解説を希望する団体に対し、見学前に解説員が館の概要と見どころを説明  
個人は音声ガイド(無料)を推奨

○学校団体に対し、展示室で利用できるワークシートを配付

※案内解説件数 38

(担当別内訳：解説員30件 学芸員8件)

※音声ガイド利用 (新型コロナ感染予防のため使用中止)

・・・4か国語(日英中韓)対応、資料60点分の解説

※いしかわれきはくガイド・・・A4判4pカラー

※児童生徒(小・中・高・特別支援)

121校 計5,895 (団体+個人)

※一般団体入館者数 40団体 740名

※外国人入館者数 10カ国 25名

ウ れきはくメイト

○会費：年額1500円 会員数：193名

○情報紙「れきはくメイト情報」（年6～7回発行）

○メイト限定展示解説

11月 3日（水・祝） 担当：塩崎 久代（学芸主任）参加者 6名

11月 5日（金） 担当：塩崎 久代（学芸主任）参加者11名

エ 連携事業

○進め！出世街道（文化振興課）

・ミュージアムコンサート「哀愁の響き、バンドネオン」

11月21日（木） 演奏：生水 敬一郎氏 他

参加者 37名

○レトロ建築見学会（文化振興課）

10月3日（日）～翌年3月27日（日） ※毎週日曜日実施 定員10名

講師：ボランティアガイド 総参加者 43名

○体験用資料貸出

学校や高齢者介護施設等に体験用資料（実物・模型）を貸出

・能美ふるさとミュージアム（装飾付太刀・王冠・銅鏡各1点）

10月12日（火）～22日（金）

利用者 100名

オ 入館者調査

○通年実施のアンケート（4段階による評価）

2月末までの主な調査結果（カッコ内は前年度データ）

（特別展）

【良い】88.3%（76%） 【まあ良い】10.8%（19%）

【あまり良くない】0%（2%） 【良くない】0.8%（2%）

（常設展）

【良い】84.4%（76%） 【まあ良い】14.2%（19%）

【あまり良くない】2%（2%） 【良くない】1%（2%）

（職員の対応）

【良い】88.0%（76%） 【まあ良い】10.4%（19%）

【あまり良くない】0.8%（2%） 【良くない】1%（2%）

（コロナ感染予防対策）

【良い】83.2%（76%） 【まあ良い】16.3%（19%）

【あまり良くない】0.3%（2%） 【良くない】0%（2%）

## ○来館者の意見

(春季特別展「小原古邨」)

- ・小原古邨の展覧会をずっと希望していた。県内外にも宣伝していい良い展覧会だった。
- ・版木や刷る手順まで展示して下さっていてとても美しかった。

(夏季特別展「大加州刀展」)

- ・初日から3日間通い、後期も行く予定。ずっと待ち望んでいた展覧会ため、発表されたときは本当に嬉しかった。
- ・各地の美術館・博物館で刀剣展示を観たが、ライティングがとても良かった。
- ・刀剣乱舞「加州清光」が好きで今回の特集・コラボが嬉しかった。

(秋季特別展「尾張徳川家の至宝」)

- ・源氏物語絵巻は勿論、その他も大変すばらしかった。色材などの使用素材の説明があり、とても勉強になった。
- ・前田家と徳川家との関係性がわかる品々を拝見できて嬉しい。
- ・徳川美術館にも行ったことがあるが多すぎて疲れてしまうので、今回の展示数がコンパクトで良い。

(常設展示)

- ・時代ごとの様子が興味深い、土器の細部まで見られて面白い。
- ・ジオラマ、展示物、ミニチュアの行列するなど興味深くわかりやすかった。
- ・音声の大きさや動きが集中を損ねないようにになっていて最後まで集中してみる事が出来た。

### ・来館者の居住地

【県内】67.1% (57%) 【県外】32.9% (43%)

(内訳：中部12%[16%] 関東16%[14%] 関西4%[6%] 他2%[8%])

(注) 中部には富山・福井も含む

### ・歴博情報入手先

【新聞】13% (10%) 【テレビ】8% (7%) 【通りがかり】2% (18%)

【HP】14% (7%) 【ポスター・チラシ】12% (11%)

【パンフレット】7% (14%) 【旅雑誌】5% (7%) 【観光案内所】2% (6%)

【Twitter】19% (4%)、【その他】19% (16%)

※ ( ) は前年度

## カ 広報

### ○マスメディア等を活用した広報活動

- ・県庁広報広聴室が持つ広報媒体(新聞、テレビ、ラジオ)の活用
- ・当館ホームページ、テレビCMスポット、案内リーフレット・広報誌「石川れきはく」・ポスター・チラシなどの配布



○共同セールス

- ・ 県立美術館、石川近代文学館等で広報宣伝活動
- ・ 例年、北陸三県の教育委員会、小学校、中学校、旅行関連業者、バス会社等（約800箇所）を直接訪問し、ポスター・パンフレット等を配布。本年度は新型コロナウイルス対応のため郵送

(2) 資料等整備事業

ア 資料修復

- ・ 「大名行列絵巻修復」

イ 殺虫・防虫対策事業

- ・ 炭酸ガスによる殺虫処理や定期的な定点モニターリングを委託
- ・ 外部収蔵庫などは状況に応じて対応

(3) 歴史文化国際交流推進事業（中止）

職員相互の調査研究事業

- ・ 共同研究推進員（韓国国立全州博物館1人、石川県立歴史博物館1人）
- ・ 実施期間 2週間（韓国及び日本滞在各1週間）

(4) 石川の歴史遺産セミナー事業（中止）

- ・ 県内外の関係機関及び研究者の協力により石川県の新しい歴史像の創造にむけた歴史的課題への取組みと、常設展示・企画展示にかかわる課題を最新の学術成果を検証

議題 2

令和4年度事業計画及び予算（案）について

1 展覧会開催事業

(2) 春季特別展

テ ー マ :	「大加州刀展」
会 場 :	特別展示室・企画展示室
期 間 :	2022年4月28日（木）～ 6月26日（日） 60日間
内 容 :	加州刀は南北朝時代の「真景」や、越前から移住した「藤嶋友重」がその魁として知られ、室町時代には藤嶋系や橋爪系、陀羅尼系などの流派が成立した。江戸時代に入ると、美濃から移った「兼若」が華やかな刃文を考案して一世を風靡し、他の刀工もこれに追随する。同じころ、加賀藩が領内の刀工を保護したこともあり、加州刀は全盛期を迎えた。当初、令和三年度夏季特別展として開幕した本展は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けわずか九日間で中止となった。このたび、再開を願う多くの声に応え、出品資料をさらに充実させて開催する。前回を超える約百振の刀剣に加え、拵などの刀装具、刀剣や武術に関する文献資料を紹介し、五百年以上続いた加州刀の歴史と魅力に迫る
展示構成 :	1章. 加州刀の黎明 真景・友重 2章. 清光の命脈 3章. 加賀青江・家次 4章. 加州最大派閥 陀羅尼 5章. 加州刀の新風 兼若 6章. 加州刀の終焉
主な展示品 :	刀/兼若 慶長九 個人蔵 刀/友重 個人蔵 刀/銘清光 浄照寺蔵 刀/脇指/銘加陽金府住藤原氏吉家陀羅尼吉右衛門尉作之 久昌寺蔵 刀/銘加州藤原住家次作 本館蔵 刀/銘賀州住藤原家平作 本館蔵 刀/銘瑞龍院為御寄進依仰奉作之 賀州住藤原家重造 個人蔵 刀/銘信長 本館蔵 刀/銘賀州住兼若造 本館蔵 →最終目玉資料
関連事業 :	展示解説、ワークショップ、「刀剣乱舞」コラボ

(2) 夏季特別展

テ ー マ :	「工芸教育の精華—納富介次郎とデザインの思想—」
期 間 :	2022年7月23日（土）～ 8月28日（日） 37日間
会 場 :	特別展示室・企画展示室
内 容 :	工芸作家の成長には、師である教育者の存在が重要な意味をもつ。教育者がもつ技術や理論のみならず、人間性や生き様までもを参考にして作家は成長する。本展は、金沢工業学校開校以降、石川県にゆかりのある工芸教育者たちにより制作された作品や図案、図書資料等を一堂に展示することで、工芸王国石川が誇る先進的な工芸教育の全容と、金沢工業学校初代校長の納富介次郎をはじめとする各時代の教育者たちがもつ教育理念や工芸文化に対する思いなどを理解して頂くことを目的として開催するものである
展示構成 :	1章、工芸教育の黎明 2章、教育思想の継承と発展 3章、工芸教育の現状と未来

主な展示品：			
納富介次郎「迎藹苑図案」	明治22年頃	白山市	個人
和田重太郎「好山図案帖」	明治24年頃	白山市	個人
「工業図案所資料」	明治35年頃	金沢市	石川県立工業高校
「La PLANTE I・II」	明治期	金沢市	石川県立工業高校
納富介次郎「水墨山水」	明治15年	金沢市	個人
北村弥一郎「結晶釉花瓶」	明治期	東京	東京藝術大学大学美術館
板谷波山「延寿文水指」	大正期	金沢市	国立工芸館
関連事業：講演会、展示解説、ワークショップ			

### (3) 秋季特別展

テ ー マ：「アトゥイー海と奏でるアイヌ文化ー」
期 間：2022年9月23日（金・祝）～ 11月13日（日） 52日間
会 場：特別展示室・企画展示室
内 容：アイヌ民族にとっての「海」は海獣のほか、魚類・海藻類などの海の幸をもたらす資源であるとともに、外の世界とつながる文化交流の道であった。アイヌ民族は豊かな海を背景として、独自の文化を発展させてきたのである。また、北前船を代表にして、本州方面と北海道をつなぐ近世・近代の交易活動においてもアイヌ民族は重要な役割をはたしてきた。本展では、北方世界を取り囲む「海」とアイヌ民族との密接な関係性について豊富な民具資料などを主軸に紹介する
展示構成：1章. 海に生きる 2章. 海の恵み 3章. 海に祈る 4章. 海でつながる
主な展示品：守護神・板綴り舟（国立アイヌ民族博物館蔵）、木偶（北海道大学植物園・博物館蔵）、トドはく製（小樽市総合博物館蔵）、ラッコはく製（根室歴史と自然の資料館蔵）、棒酒箸（函館市北方民族資料館蔵）、イクパスイ（松前城資料館蔵）、アイヌ絵巻（北海道立文学館）、船型模型・アザラシ猟用木幣（北海道博物館）、アイヌ図屏風（かほく市 個人蔵）、昆布絵馬（放生津八幡宮蔵）、蝦夷錦七条袈裟（志賀町 西念寺蔵）
関連事業：記念講演会、アイヌ学講座、展示解説、ワークショップ

## 2 その他事業

### (1) 普及事業

#### ア 各種行事・講座

##### ○展示解説

開催展示会にあわせて実施

##### ○講演会

特別展開催にあわせて実施

##### ○館長講演会

○れきはくゼミナール（全11回予定）

○いしかわ歴史講座（全9回予定）

○古文書講座（全7回予定）

○ワークショップ（回数未定）

イ 解説案内・レファレンスサービス

- 学校及び一般の団体来館者：解説員、学芸員が対応
- 個人来館者：音声ガイド（日英韓中・無料貸出）で対応
- 学術関係の問い合わせ：学芸員が対応

ウ れきはくメイト

- 情報紙「れきはくメイト情報」の配布  
年6～7回発行 展覧会や募集案内など
- 歴史散歩：年数回（5～11月） 県内中心 募集人員25名

エ 入館者調査

- 通年実施のアンケート調査 一般個人及び団体入館者を対象

オ 広報

- マスメディア等を活用した広報活動
  - ・県庁広報広聴室が持つ広報媒体（新聞、テレビ、ラジオ）の活用
  - ・当館ホームページ、テレビCMスポットでの広報、案内リーフレット、広報誌「石川れきはく」、北陸鉄道広告、ポスター、チラシなどの配布
- 共同セールス
  - ・年度末に当館と県立美術館、石川近代文学館等で共同広報活動

(3) 資料整備事業等

ア 資料修復・購入

- ・金沢町絵図（修復）  
虫食い穴が多数あり修復をしたうえで、掛け軸に表具
- ・前田齊泰書（修復）  
額装された書の表面の一部陥没があり展示に堪えないことから、修復
- ・能登名跡志（購入）  
展示資料としても、江戸時代後期の能登を知る上でも貴重な資料として購入
- ・水墨山水幅（購入）  
明治から大正の工芸教育者・画家納富介次郎の掛軸。貴重な作品として購入

イ 殺虫・防虫対策事業

- ・所蔵資料や借用資料等の保存のため、炭酸ガスによる殺虫処理や定期的、定点モニターリング・防虫対策を委託
- ・外部収蔵庫などは状況に応じて柔軟に対応

(3) 歴史文化国際交流推進事業

職員相互の調査研究事業

- ・共同研究推進員（韓国国立全州博物館1人、石川県立歴史博物館1人）
- ・実施期間 2週間（韓国及び日本滞在各1週間）

(4) 石川の歴史遺産セミナー事業

県内外の関係機関並びに研究者の協力により、石川県の新しい歴史像の創造にむけた歴史的課題に取り組む。常設展示・企画展示にかかわる課題を、最新の学術成果をもとに検証し、展示内容に反映

日 程	テーマ
8 月	工芸教育史（仮）
10 月	はじめて学ぶアイヌ史

3 令和4年度当初予算

単位：千円

区 分 項 目	4年度 予算額（イ）	3年度 予算額（ロ）	増減額 （イ）－（ロ）	備 考
運 営 費	93,552	91,298	2,254	非常勤嘱託 9,845 管理運営費 62,995 案内解説事業費 20,712
歴史文化国際 交流推進費	0	0	0	韓国全州博物館との 姉妹館調査研究事業
展 示 費	41,486	54,139	▲12,653	常設展 6,483 特別展 35,003
調査普及費	17,428	17,728	▲300	非常勤職員 13,324 調査研究等 4,104
整 備 費	11,198	74,216	▲63,018	資料修復費等
計	163,664	237,381	▲73,717	